

平成 27 年度 公益財団法人日本体育協会 公認ジュニアスポーツ指導員養成講習会

受講の手引き・申込書

<目次>

1. 平成 27 年度公認ジュニアスポーツ指導員養成講習会開催要項
2. 日本体育協会公認ジュニアスポーツ指導員専門科目カリキュラム
3. 公認ジュニアスポーツ指導員養成講習会申込みから受講の流れ
4. 公認ジュニアスポーツ指導員専門科目養成講習会基本日程表

平成 27 年度公認ジュニアスポーツ指導員養成講習会 開催要項

1. 目的

地域スポーツクラブなどにおいて、幼・少年期の子どもたちにあそびを通じた身体づくり、動きづくりの指導を行う指導者の養成を目的とし実施する。

2. 主催 公益財団法人 日本体育協会

3. 受講者(受講条件)

1) 受講条件 受講を開始する年の 4 月 1 日現在、満 20 歳以上の者。

2) 受講者数 200 名(各会場定員 100 名)

※ 各会場先着順とし、定員になり次第申込みを締め切る。

3) 受講者の決定

受講申込の申請に基づき免除等の書類審査の上、受講者を決定し、本人宛に通知する。

4. カリキュラム

1) 共通科目 I 35 時間【共通科目 I (通信教育)】

- ① 文化としてのスポーツ
- ② 指導者の役割 I
- ③ トレーニング論 I
- ④ スポーツ指導者に必要な医学的知識 I
- ⑤ スポーツと栄養
- ⑥ 指導計画と安全管理
- ⑦ ジュニア期のスポーツ
- ⑧ 地域におけるスポーツ振興

(注) 共通科目 I は、NHK 学園の通信講座を受講する。

2) 専門科目 40 時間(集合講習 27 時間 自宅学習 13 時間)

① 基礎

- ア. ジュニア期のスポーツの考え方
- イ. ジュニアスポーツ指導員の役割
- ウ. 子どもの発達とコミュニケーションスキル
- エ. コーディネーション能力を高める運動

② 乳幼児期

- ア. 動きの発達とスキルの獲得(基本的動作の習得)
- イ. 運動あそび・ゲームの実際
- ウ. コーディネーション能力を高める運動

③ 児童前期

- ア. 動きの発達とスキルの獲得(動作の習熟)
- イ. 運動あそび・ゲームの実際
- ウ. コーディネーション能力を高める運動

- ④ 児童後期
 - ア. 動きの発達とスキルの獲得(スポーツスキルの上達)
 - イ. スポーツスキル獲得の実際
 - ウ. コーディネーション能力を高める運動
- ⑤ 青年前期
 - ア. 動きの発達とスキルの獲得(より専門性の高いスポーツスキルの獲得)
 - イ. スポーツスキル獲得の実際
 - ウ. コーディネーション能力を高める運動
- ⑥ 指導実習

(注1) 専門科目の集合講習は前期と後期に分けて実施し、前期受講修了者のみ後期講習に参加することができる。

(注2) 原則として同一年度内に前期と後期の講習を受講すること。

5. 実施方法(開催期日・会場)

- 1) 共通科目(共通科目Ⅰ)／通信講座(NHK 学園)
- 2) 専門科目／集合講習(27時間)及び自宅学習(13時間)

＜集合講習会場:2会場＞

【東会場】前期:平成27年10月9日(金)～11日(日)3日間

後期:平成27年11月21日(土)～22日(日)2日間(※)

会場:スポーツ総合センター<埼玉県>

埼玉県上尾市東町 3-1679 スポーツ総合センター

※11月22日(日)の検定試験会場は、日本体育協会となります。

日本体育協会<東京都>

東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館

【西会場】前期:平成27年10月16日(金)～18日(日)3日間

後期:平成27年12月5日(土)～6日(日)2日間

会場:滋賀県立体育館<滋賀県>

滋賀県大津市におの浜 4-2-12

※ 各会場先着順とし、定員になり次第申込みを締め切る。

※ 各施設、宿泊施設を伴わない会場であるため、宿泊する場合は自己手配となる。宿泊にかかる経費は、自己負担とする。

6. 検定試験・審査

講習に基づく検定試験は、共通科目と専門科目に区分して実施する。

- 1) 共通科目における検定試験は、通信教育(NHK 学園通信講座)課題検定による判定とし、日本体育協会指導者育成専門委員会において審査を行う。
- 2) 専門科目における検定試験は、後期講習会最終日に実施する筆記試験による判定とし、日本体育協会指導者育成専門委員会において審査を行う。
- 3) 共通科目及び専門科目の検定試験に合格した者を「公認ジュニアスポーツ指導員養成講習会」修了者として認める。
- 4) 不合格者には、個人成績表を発行する。

7. 受講申込

1) 申込方法

インターネットサービス「指導者マイページ(<https://my.japan-sports.or.jp/login>)」の登録手続きを行い、指導者マイページより本講習会の申込手続きを行います。申込方法の詳細については、下記の URL よりご確認ください。

■日本体育協会ホームページ：ジュニアスポーツ指導員

<http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/214/Default.aspx>

2) 申込期間 平成 27 年 6 月 1 日～6 月 30 日（予定）

※先着順とし、定員になり次第締切ります。

8. 受講料(検定料を含む)

1) 共通科目：21,600 円(消費税込み)

◎共通科目免除者は不要。

[免除対象者については、10. 講習・試験の免除を参照]

2) 専門科目：21,600 円(消費税込み)

(注)集合講習会参加のための旅費、宿泊費については別途自己負担。

9. 受講有効期限

1) 共通科目 1 年間(再学習料金は 18,000 円)

2) 専門科目 4 年間

10. 講習・試験の免除

1) 下記資格保有者(登録者)は、共通科目を全て免除する。

- | | | |
|---|-------------------------------------|-------------------|
| ① | 日本体育協会公認 | 指導員・上級指導員 |
| ② | 〃 | コーチ・上級コーチ |
| ③ | 〃 | 教師・上級教師 |
| ④ | 〃 | スポーツプログラマー |
| ⑤ | 〃 | フィットネストレーナー |
| ⑥ | 〃 | アスレティックトレーナー |
| ⑦ | 〃 | クラブマネジャー |
| ⑧ | 〃 | アシスタントマネジャー |
| ⑨ | 〃 | スポーツ栄養士 |
| ⑩ | 〃 | スポーツリーダー |
| ⑪ | 日本スポーツ少年団認定員 | |
| ⑫ | 日本レクリエーション協会公認 | レクリエーションコーディネーター |
| ⑬ | 〃 | 野外活動指導者(ディレクター1級) |
| ⑭ | 健康・体力づくり事業財団公認 | 健康運動指導士 |
| ⑮ | 免除適応コース共通科目修了証明書取得者 | |
| ⑯ | 一部の免除適応コース承認校(大学)を卒業(詳細は本会 HP にて確認) | |

11. 資格の登録及び認定

- 1) 共通科目及び専門科目の検定試験に合格し、資格登録の手続きを完了し所定の登録料を納めた者に、日本体育協会公認ジュニアスポーツ指導員の「認定証」及び「登録証」を交付する。
- 2) 登録料は4年間で10,000円(初回登録時のみ13,000円)とする。
- 3) 資格の登録有効期間は、4年間とし4年毎に更新する。ただし、認定される公認ジュニアスポーツ指導員資格以外に、すでに日本体育協会公認スポーツ指導者資格を登録している場合は、その資格の登録有効期限までを初回の登録有効期間とする(スポーツリーダーは除く)。資格の登録を更新する際は、資格の登録有効期限の6ヶ月前までに、日本体育協会が定める研修を受けなければならない。

12. 注意事項

- 1) 受講申込書に記載の個人情報は、本講習会の管理及び諸連絡以外には使用いたしません。
- 2) 本講習会の受講有効期限内に他の本会公認資格の受講はできないため、注意すること。また、他の本会公認資格を受講中の場合も受講申し込みはできない。

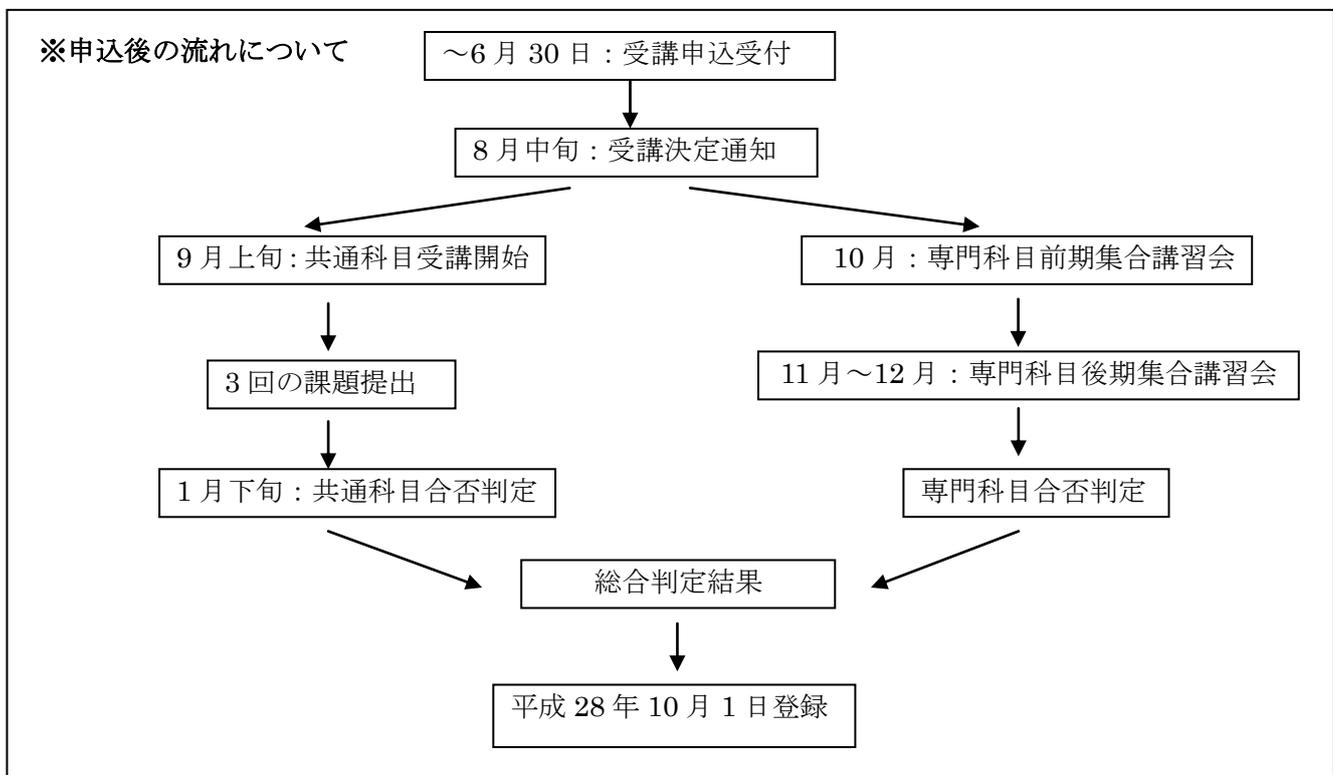
13. 問い合わせ先

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育館内
公益財団法人 日本体育協会

スポーツ指導者育成部 育成課 ジュニアスポーツ指導員係

TEL:03-3481-2226 FAX:03-3481-2284 Email:junior@japan-sports.or.jp

<問合せ時間>平日 9:30~17:30(12:00~13:00を除く) / 土・日・祝日休み



ジュニアスポーツ指導員資格専門科目カリキュラム

	科目名	内容	時間数			
			講義	実習	自習	計
基礎	ジュニア期のスポーツの考え方	子どもたちを取り巻く問題点と運動・スポーツの必要性 (社会環境、体力運動能力の低下、心の問題) 今日の子どもスポーツ指導の問題点とその対策 (間違った指導による傷害・疾病・心理的障害) 本来のスポーツのもつ人間への影響 (幼少年期のスポーツ・運動経験が及ぼす影響) 大人のスポーツと子どものスポーツの違い (保護者の子どもスポーツに対する考え方) スポーツのやりすぎ、燃えつき 望ましいライフスタイルと運動・スポーツの関係 コーディネーション能力を高める運動の必要性	1.5		1.5	3
	ジュニアスポーツ指導員の役割	事業の背景と理念(本講習会が目指すもの) 本事業が目指すジュニアスポーツ指導員像 ジュニアスポーツ指導員に求められる能力	1.5		1.5	3
	子どもの発達とコミュニケーションスキル	個人差の容認(誰にでも長所と短所があることを認める) 対象者の目線に立つ(一緒に楽しむ) 「コミュニケーションの3V」の法則 積極的傾聴(質問、聴く、ベーシング、承認、深める、まとめる、沈黙など) 観察、洞察 アドバイス リクエスト	4		2	6
乳幼児期	動きの発達とスキルの獲得(基本的動作の習得)	移動系の運動スキル(這う、歩く、走る、跳ぶ、泳ぐ、滑る) 平衡系の運動スキル(転がる、ぶら下がる、よじ登る、まわる) 操作系の運動スキル(掴む、投げる、捕る、打つ、蹴る)	3		2	5
	運動あそび・ゲームの実際	親子のあそび・ゲーム 1人でできるあそび・ゲーム グループでのあそび・ゲーム ※コーディネーション能力を高める運動を含む				
児童前期	動きの発達とスキルの獲得(動作の習熟)	移動系の運動スキル(這う、歩く、走る、跳ぶ、泳ぐ、滑る) 平衡系の運動スキル(転がる、ぶら下がる、よじ登る、まわる) 操作系の運動スキル(掴む、投げる、捕る、打つ、蹴る) 運動組合せ	3		2	5
	運動あそび・ゲームの実際	あそびや運動(ごっこあそび、ゲーム、運動あそび、スポーツ)の種類とそれらの発展のプロセス 幼少年期に必要とされる動きと、それらの動きを用いた運動の仕方 運動あそびやゲームの実際 ※コーディネーション能力を高める運動を含む				
児童後期	動きの発達とスキルの獲得(スポーツスキルの上達)	時間的調整、空間的調整、力量的調整からなるスポーツスキルの習得	3		2	5
	スポーツスキル獲得の実際	蹴る 投げる、打つ、捕る 滑る 叩く 走る、跳ぶ 泳ぐ、巻く、漕ぐ たたきつける、引いて押す ※コーディネーション能力を高める運動を含む				
青年前期	動きの発達とスキルの獲得(より専門性の高いスポーツスキルの習得)	運動組合せのスムーズな展開	3		2	5
	スポーツスキル獲得の実際	基本的な運動組合せ スポーツ種目特有のスキル(サッカー、野球、スキー、テニス、陸上競技、水泳、柔道、ダンス) ※コーディネーション能力を高める運動を含む				
指導実習	指導実習		8		0	8
	評価 筆記					
			27		13	40

公認ジュニアスポーツ指導員養成講習会申込みから受講の流れ

1. 受講申込み

公認ジュニアスポーツ指導員資格の取得希望者は、6/1～6/30 までの間にインターネットサービス「指導者マイページ (<https://my.japan-sports.or.jp/login>)」の登録手続きを行い、指導者マイページより本講習会の申込手続きを行ってください。申込方法の詳細については、下記の URL よりご確認ください。

■ 日本体育協会ホームページ：ジュニアスポーツ指導員

<http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/214/Default.aspx>

2. 受講の決定

受講会場等の調整後、日本体育協会（以下「本会」）から受講希望者宛に受講決定通知を送付します。受講決定通知の内容は、以下のとおりとなります。

受講会場決定通知（日程表・講習会場案内図・受講料納入の案内等）

3. 受講料の納入

1) 納入方法

共通科目：NHK学園から9月上旬に届く教材の中に振込用紙が同封されておりますので、案内に基づきお支払いいただきます（受講料：21,600円）。

※共通科目が免除される場合は、受講料は必要ありません（教材送付なし）。

専門科目：本会から受講決定通知が届き次第、案内に基づき指定の期日（受講決定通知の際に連絡）までに、**日本体育協会**へお振込み下さい。（受講料：21,600円）。

2) 受講有効期限について

共通科目：1年間。検定試験不合格時の次年度以降の再学習料金は18,000円（1年）です。

専門科目：4年間。

3) 受講のキャンセルについて

共通科目、専門科目受講料について一度振込まれた受講料は、返金する事はできません。

また、振込み前の受講キャンセルについては、教材が未使用の場合に限り返品を受け付け、受講をキャンセルする事ができます。

4. 受講の開始

1) 共通科目

9月上旬に教材が届きますので、教材を基に学習を開始してください。

3回の課題提出があり、それぞれの提出期限までに課題を提出する必要があります。

2) 専門科目

教材が届き次第、自宅学習を開始してください。9月から始まる前期・後期集合講習会を受講し、後期集合講習会の最終日に検定試験を受験します。

後期集合講習会は前期集合講習会を受講していなければ受講する事ができません。また、検定試験は前期・後期集合講習会を全て受講していなければ、受験できません。

講習会の学習効果を高めるため、同一年度に前期集合講習会と後期集合講習会を受講してください。前期集合講習会と後期集合講習会の受講会場については、同一会場を受講する必要はありません。

5. 専門科目集合講習会

基本日程表に基づき講義を実施します。諸事情により講義日程が変更（講義科目の入れ替え等）する場合がありますので、ご了承ください。集合講習会の詳細については、別途ご連絡いたします。なお、宿泊については、自己手配となります。

6. 受講結果

1) 共通科目結果

3回の課題提出者に対して、NHK学園から1月初旬に受講結果を通知いたします。

全体で6割以上の正答で共通科目合格となります。

合格者には、共通科目修了証明書を送付し、不合格者に対しては、追試課題のご連絡をいたします。

2) 専門科目結果

後期集合講習会時に行なわれる検定試験結果で、合否判定をいたします。

3月下旬までに、本会から総合判定結果として、専門科目検定の結果を通知いたします。

7. 総合判定結果

共通科目、専門科目検定結果を総合した判定結果については、3月下旬に本会から受講者本人に対し通知いたします。

(1) 合格者 修了通知を送付します。

(2) 保留者 共通科目については、NHK学園の再学習をお申ください。

専門科目については、集合講習会を受講、もしくは検定試験を受験してください。

8. 資格の登録

登録料のお支払いのご案内を7月下旬に送付いたします。資格の登録に関する手続きを終了(登録申請書の提出、登録料の納入)した方を、平成28年10月1日付で公認ジュニアスポーツ指導員として認定いたします。

■申込に関するお問合せ先

公益財団法人 日本体育協会 スポーツ指導者育成部 ジュニアスポーツ指導員係

TEL : 03-3481-2226 FAX : 03-3481-2284 E-mail : junior@japan-sports.or.jp

<問合せ時間>平日 9:30~17:30 (12:00~13:00を除く) / 土・日・祝日休み

公認ジュニアスポーツ指導員 専門科目養成講習会 基本日程表

《前期集合講習会》

■第一日目

- 11:45～12:15 受付
- 12:15～13:00 開講式・オリエンテーション・情報提供
- 13:00～17:00 ◇基礎：子どもの発達とコミュニケーションスキル（講義）
- 17:00～18:30 ◇基礎：ジュニア期のスポーツの考え方（講義）
- 18:30～19:00 ◇指導実習：指導計画表作成の説明

■第二日目

- 9:00～13:00 ◇乳幼児期・児童前期（講義および実習）
- 13:00～14:00 昼食休憩
- 14:00～18:00 ◇児童後期・青年前期（講義および実習）

■第三日目

- 9:00～13:00 ◇コーディネーション能力を高める運動（講義および実習）

※ 講義中も適宜休憩を取る予定。

※ 実習を伴う講義では、運動のできる服装・室内履きが必要となります。
 けが等されている場合については、事前にご相談ください。

時間	第一日目	第二日目	第三日目
9:00		◇乳幼児期・児童前期 (4h) 動きの発達とスキルの獲得 (基本的動作の習得) (動作の習熟) 運動あそび・ゲームの実際	◇コーディネーション能力を 高める運動 (4h)
10:00			
11:00			
12:00	集合・受付		
	開講式・オリエンテーション 情報提供		
13:00	◇子どもの発達と コミュニケーションスキル (4h)	昼食 (1h)	解散
14:00			
15:00		◇児童後期・青年前期 (4h) 動きの発達とスキルの獲得 (スポーツスキルの上達) (より専門性の高い スポーツスキルの習得) スポーツスキル獲得の実際	
16:00			
17:00	◇ジュニア期の スポーツの考え方 (1.5h)		
18:00			
19:00	◇指導計画表作成の説明 (0.5h)		

《後期集合講習会》

■第一日目

- 9:45～10:15 受付
- 10:15～10:30 開講式・オリエンテーション
- 10:30～12:30 ◇ジュニアスポーツ指導員の役割（講義）
- 12:30～13:30 昼食休憩
- 13:30～19:00 ◇指導実習・評価（講義・実習）

- ※ 講義中も適宜休憩を取る予定。
- ※ 実習を伴う講義では、運動のできる服装・室内履きが必要となります。けが等されている場合については、事前にご相談ください。

■第二日目

- 9:00～11:30 検定試験（筆記試験）

時間	第一日目	第二日目
9:00		試験説明・筆記試験 9:00～11:30
	集合・受付	
10:00	開講式・オリエンテーション	
11:00	◇ジュニアスポーツ指導員の役割 (2h)	
12:00		
13:00	昼食 (1h)	
14:00	◇指導実習・評価 (5.5h) (途中適宜休憩)	
15:00		
16:00		
17:00		
18:00		
19:00		

※基本日程は、諸事情により変更する可能性がありますので予めご了承ください。